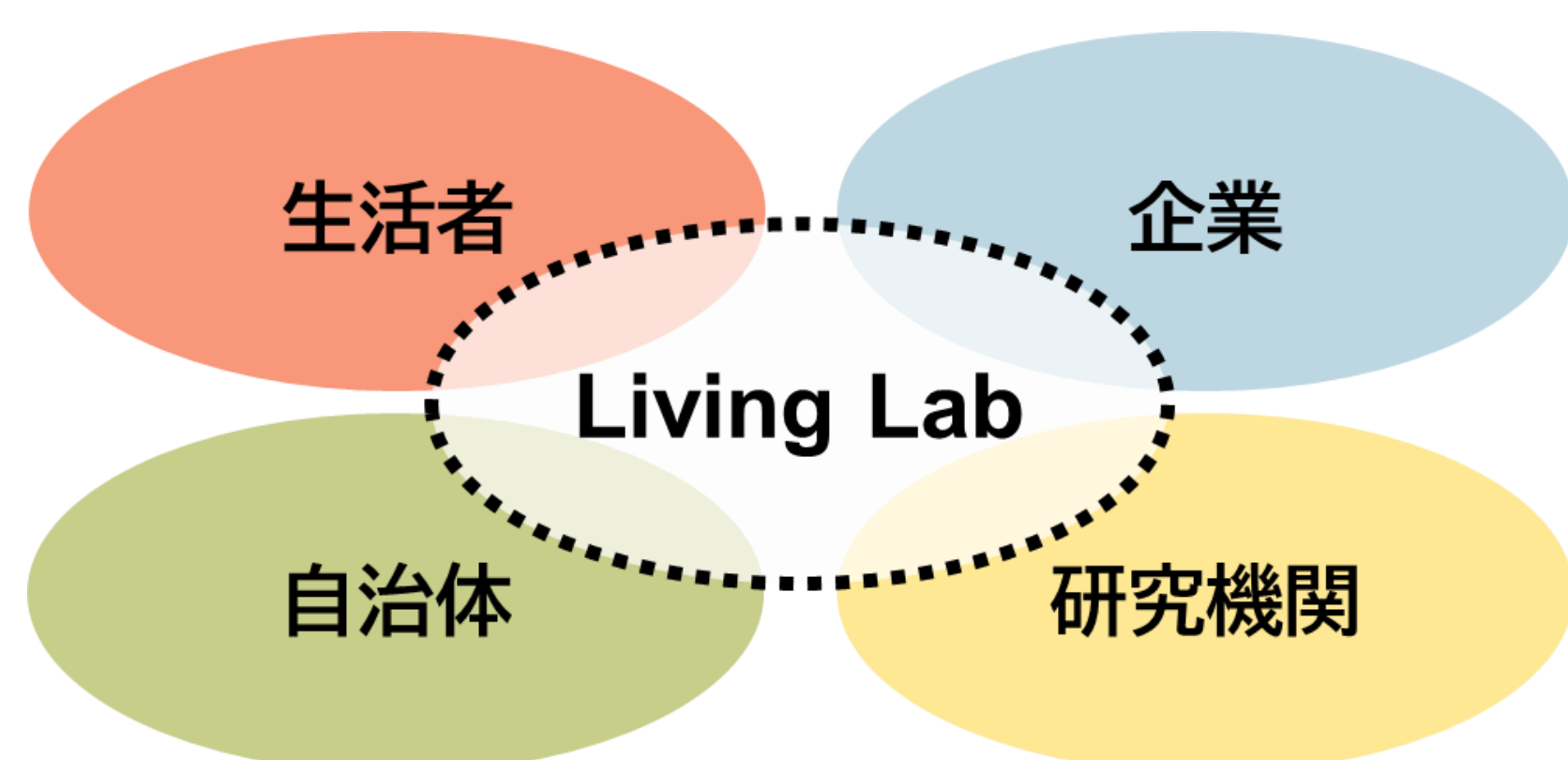


ソーシャルイノベーションのための リビングラボの実践と方法論研究

リビングラボを支えるインフラストラクチャの開発

- ▶ 生活者と未来の技術やサービスを共創する方法論＝「リビングラボ」に関する研究開発を進めています。
- ▶ リビングラボを効果的に進めるためのインフラとして、各種支援手法や地域連携体制を構築しています。
- ▶ リビングラボの知見の体系化。実践者のネットワーク化を進めています。

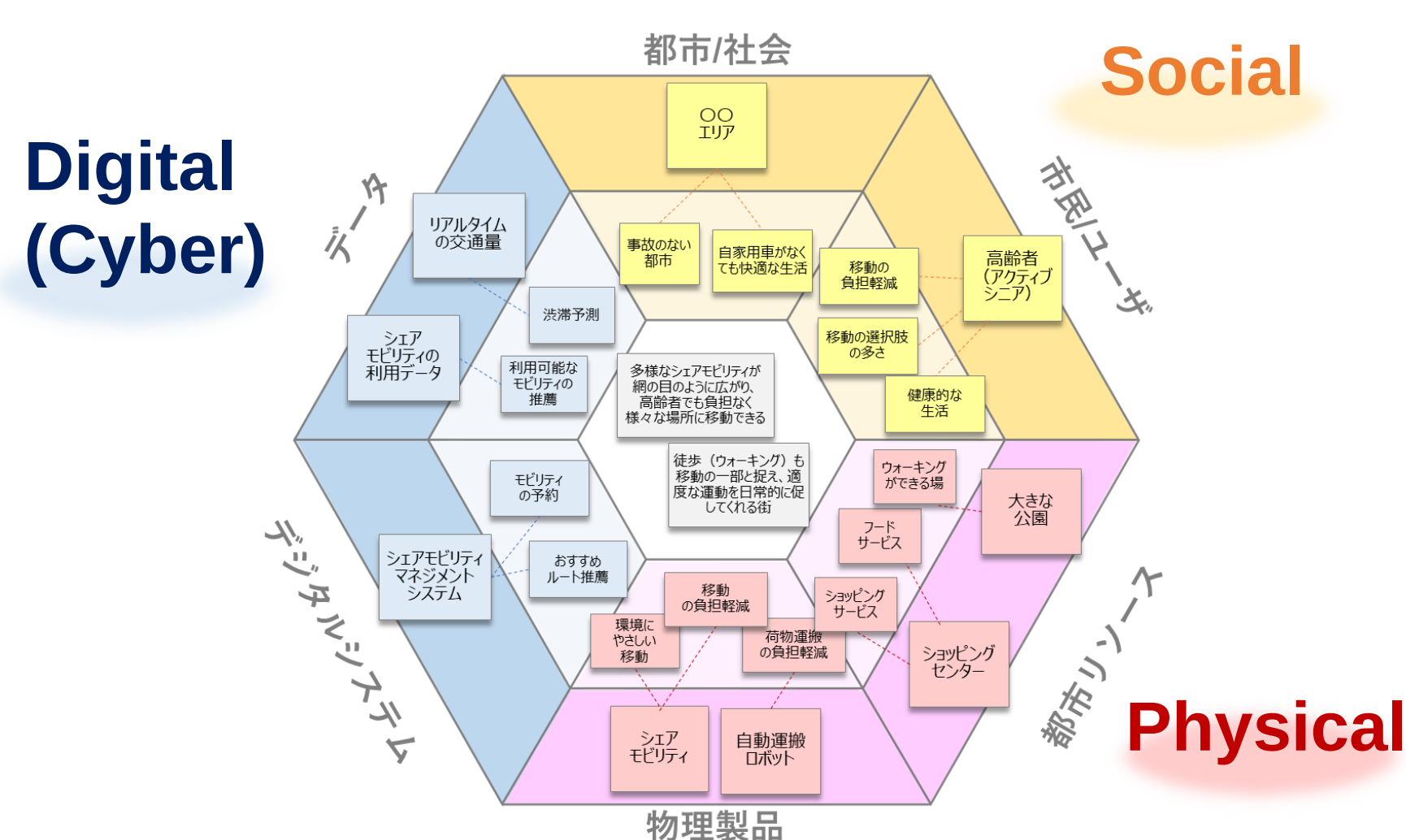


リビングラボ (Living Lab) :

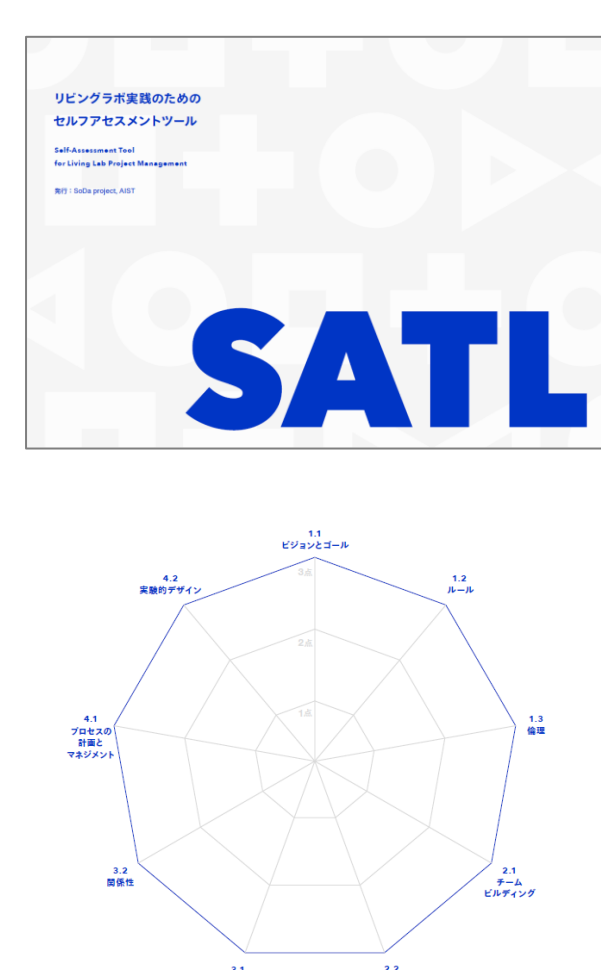
多様なステークホルダによる共創を通じて、サービスをリビング（生活空間）でラボ（実験的に創出）するための仕組み（環境およびプロセス）

① リビングラボ実践を支援する手法の開発

Digital Future Hexagon: Socio-CPS視点での価値探索

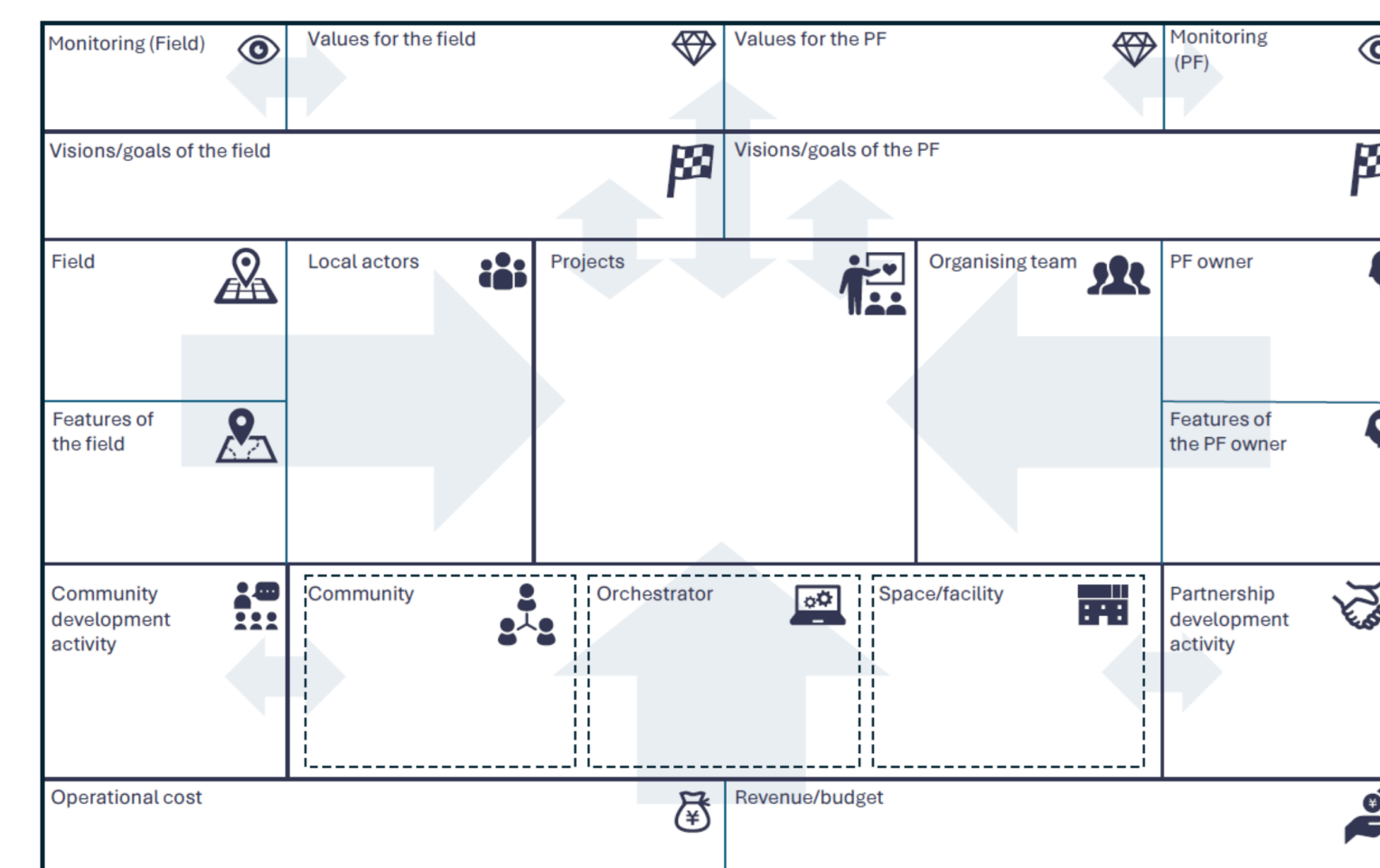


LL Management Tool: LLのプロジェクトマネジメント ツールの開発



Q.7	参加者	あなたのリビングラボプロジェクトは、プロジェクトの進展に必要なNPO（など）や生活者（市民やユーザー）を、十分に巻き込むことができますか？
Q.8	リクルート	あなたのリビングラボプロジェクトでは、参加してほしい生活者の属性・特長を明らかにすることができますか？ また、自分ごととしてプロジェクトに参画することはできますか？
Q.9	参加者のゴール	あなたのリビングラボプロジェクトでは、それぞれの参加者がどのような目的・ゴールを達成したいと考えていますか？ また、自分ごととしてプロジェクトに参画することはできますか？
Q.10	役割	あなたのリビングラボプロジェクトでは、それぞれの参加者がどのような役割を担うことができますか？ また、自分ごととしてプロジェクトに参画することはできますか？
Q.11	コミュニケーションツール	あなたのリビングラボプロジェクトでは、プロジェクトメンバー間で意思疎通・情報共有・協働を促進するためのコミュニケーションツール（例：チャット、メール、SNS等）はありますか？
Q.12	知識共有	あなたのリビングラボプロジェクトでは、プロジェクトの進捗や成果を、プロジェクトメンバー以外の関係者（例：市民、企業、自治体等）と共有することができますか？
Q.13	透明性	あなたのリビングラボプロジェクトでは、プロジェクトの進捗や成果を、プロジェクトメンバー以外の関係者（例：市民、企業、自治体等）と共有することができますか？

Platform-level LL Canvas プラットフォーム型のLLの 立ち上げ・運営支援



② ソーシャルラボの実践： 地域連携体制構築

柏の葉での「市民アドバイザ」運営



「みんなのまちづくりスタジオ」との連携



③ 知見の体系化・ 全国ネットワーキング

Living Lab Laboratory (LLL)での知見発信



各種関連組織との連携

